

# 施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (2)住環境の向上

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

## ■基本施策が目指す姿

市民が、快適で安全・安心な住環境の整ったまちで暮らしています。

## ■関連する分野別計画

亀山市住生活基本計画

## ■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	あんしん賃貸住宅、高齢者向け賃貸住宅等の登録戸数	戸	4	H28	18					30
2	条例に基づく空き家の管理指導に対する是正割合	%	-	H28	12					100
3	空き家情報バンクの契約成立件数(累計)	件	8	H28	9					30
4										
5										

## ■市民アンケート調査

項目	重要度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1 快適な住環境が整っている	重要度	1.22			
	満足度	▲ 0.17			
2	重要度				
	満足度				
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

## ■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b> まずまず進んでいる	木造住宅耐震補強や狭隘道路の解消など安全・快適な住環境の整備は、順調に施策推進を図ることができており、個別判定をAとしている。空き家の対策・利活用については、空家管理の是正など、まずまず進めることができ、個別判定をBとしている。良好な住宅の維持・確保については、あんしん賃貸住宅や民間賃貸住宅借上げなど、まずまず確保することができ、個別判定をBとしている。基本施策に設定している3指標のうち、2指標において実績値の上昇がみられ、基本施策の目指す姿に向け、各施策の推進により、まずまず近づけることができていると考えられることから、総合判定をBとした。
反省点・課題	
民間借上げ住宅に関しては、過去に建設した事業者のみの応募であり、新規事業者の獲得に向けた情報発信が必要である。空き家の利活用を進めるため、利活用できる物件については、所有者に対して、個別に相談するなど展開をしていく必要がある。また、空き家情報バンク登録件数を増加させるため、ホームページの登録情報などを充実させる必要がある。	

## 今後の展開方針

民間借上げ住宅の確保については、市営住宅の老朽化に伴う住替えや入居希望者を踏まえ、計画的に確保していく。空き家登録件数を増やす取組として、地域まちづくり協議会や建築・不動産等の専門分野の方との連携を図り、空き家のリストアップによるランク分け(利活用できないかなどの仕分け)をし、空き家所有者に対して、有用な情報を提供するなど、利活用いただけるよう働きかけを強化していく。同時に、新たな空き家改修に対する費用の助成を行うとともに、ホームページの充実を図るなど、多様な情報発信に努める。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 良質な住宅の維持・確保							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B まずまず進んでいる	活動	住宅困窮者に対する住宅セーフティネットの確保として、官民で組織する協議会(居住支援協議会)で、賃貸住宅等の登録戸数確保の取組みを行うとともに、市営住宅の老朽化に伴う住宅確保のため、民間賃貸住宅借上げの取組みを行った。			評価	市営住宅の民間賃貸住宅借上げは、5戸であったが、継続して24戸の物件が手続中であり、確保できる見込みである。また、あんしん賃貸住宅等の登録戸数を18戸まで確保することができたことから、良質な住宅の維持・確保はまずまず図れている。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		17006	民間活用市営住宅事業	主	23,739 / 23,739	C	C
事業の取組以外	内容					活動	成果

施策の方向② 安全・快適な住環境の整備							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A 順調に進んでいる	活動	亀山市耐震改修促進計画等に基づき、耐震化の必要性についての周知の取組として、戸別訪問や無料耐震相談会、自治会等への出張講座で耐震への働きかけを行った。また、狹隘道路後退用地の確保については、予定していた路線、建替え等の申請時及び地籍事業に合わせて境界立会いを行った。			評価	亀山市耐震改修促進計画に基づく耐震補強件数には至らなかったが、耐震啓発による一定の件数確保はできた。また、狹隘道路の後退に伴う用地の所有権移転の完了延長は、大きく計画値を超えることができ、安全快適な住環境の整備に向け進めることができた。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		17017	狹隘道路後退用地整備事業	主	14,600 / 13,300	A	A
		17023	地震対策・木造住宅補強事業	主	38,967 / 37,741	B	B
		8214	狹隘道路後退用地整備事業(建築指導費)	標	1,050 / 972	A	A
事業の取組以外	内容					活動	成果

施策の方向③ 空き家の対策・利活用							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B まずまず進んでいる	活動	空家等活用としては、空家の利活用を促進するため、空き家情報バンク制度や空き家等の改修に必要な費用の助成について、専門雑誌、広報誌及びホームページ等を通じ周知を図った。また、空家等対策としては、亀山市空家等対策協議会を開催し、特定空家等8件、管理不全状態の空家等17件を認定し、所有者に対して指導を行った。			評価	空家等活用としての空き家情報バンクについては、登録・成約とも1件にとどまり、活用の促進が図られているとは言いがたい。一方、空家等への対策として、改善指導を行った結果、特定空家等2件、管理不全状態の空家等1件の改善が図れた。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		17007	空家等活用事業	主	0 / 0	C	C
		17008	空家等対策事業	主	760 / 177	A	B
事業の取組以外	内容					活動	成果